

	申請者氏名	山本航平
論文名	Thickness dependence of charge and magnetic orderings in $\text{La}_{1/3}\text{Sr}_{2/3}\text{FeO}_3$ thin films studied by hard and soft x-ray scattering	
国際会議名	International Conference on Strongly Correlated Electron Systems	
開催地	Prague, Czech	
参加期日	2016年7月16-21日	
参加目的：		
我々は $\text{La}_{1/3}\text{Sr}_{2/3}\text{FeO}_3$ 薄膜にみられる電荷・磁気秩序が膜厚によってどのような影響を受けるか、特に臨界膜厚近傍での振る舞いを放射光硬・軟 X 線回折を用いることで、系統的に膜厚を変化させた薄膜の電荷・磁気秩序を調べた。この結果を報告するとともに、最新の強相関電子系の情報を収集する。		
会議の状況：		
17日から21日の5日間朝8時30分から18時まで口頭・ポスターセッションが密に組み立てられており、その合間にも活発な議論が行われていた。参加者は700人を超え、世界各地での最新の実験・理論双方の研究成果が報告されていた。		
成果概要：		
トピックは多岐にわたり、U・Ce・Sm化合物、フラストレーション、高温超伝導、トポロジカル、マルチフェロイック物質などのセッションが行われた。		
私のポスター発表には、日本・海外双方の研究者が訪れ、活発な議論ができた。また発表した金属・絶縁体転移や電荷・磁気秩序構造を持つペロブスカイト酸化物はもちろんだが、それ以外の内容の発表にも興味を持てるものが多かった。私の所属するグループでは主に放射光 X 線を使った物性研究を行うと共に、SPring-8のBL07LSUにおいて軟 X 線を活かした最先端測定装置の開発も行っており、これらの装置と組み合わせた研究展開につながる内容も特にマルチフェロイックの分野で得ることができた。		
湯川記念財団望月基金の援助により、このような有意義な会議に参加する機会を得ることができた。この場を借りて感謝申し上げます。		